

3) 検討結果

水位固定条件による解析結果と、流入無し条件の解析結果について比較を行った。水位固定条件による第1帯水層への北側境界からの流入量は0であり、結果として両者の解析結果に大きな差は見られないが、最初に示した地形的な根拠(第1帯水層は、北側境界付近が分水嶺にあたり地下水が解析領域内に流入しないものと考えられる)から、第1帯水層を流入無し条件とするモデル(ケース)のほうが実態に近いと考えられる。